

帝塚山中学突破カリキュラム

使用教材

傾向と対策

ポイント

基本戦略

◎ 年間スケジュール

	2～4月	5月～8月	9月～11月	12月～1月
学校行事				
トライ対策スケジュール	応用力養成期		発展力養成期	実践力養成期
	算：受験に必要な単元の学習。・新小学問題集 中学入試編 ステージⅢ。国：受験に必要な単元の学習。新小学問題集 中学入試編 ステージⅢ。社：受験に必要な単元の学習（公民）。・新小学問題集 中学入試編 ステージⅢ。理：受験に必要な単元の学習。・新小学問題集 中学入試編 ステージⅢ。		算：今までの単元学習のまとめと融合問題になれる。実践的な演習量を増やしていく。四谷大塚4科のまとめ。国：いろいろな学校の過去問演習。社：中学入試の攻略。理：中学入試の攻略。	算、国、社、理：過去問中心の演習。できなかった単元を別途問題集より類題を演習し強化していく。
ポイント	①国語は実践的な問題に慣れていくことと長文問題の分量や時間を意識して取り組む。 ②社会は出題傾向にあわせて頻出単元を絞り込み対策を行なう。 ③算数は問題数は多くないが、時間を要する問題が多い為、時間配分や解答時間を考えるトレーニングをすること。			

◎Data Mining

算数	試験時間60分、配点150点〈出題分析〉計算問題：2問（四則混合）／一文問題：8問（数の性質・食塩水・平均算・和差算・比例配分・相当算・つるかめ算・規則性・速さ）／応用文章題：6～8問（速さ・図形の移動・規則性）。〈対策〉難問は少なく、基本問題中心の構成になっている。出題分野は、主に、計算・一行問題（特殊算）・速さ・割合・規則性・図形でほぼ構成されている。時間に対しての問題量が多めになっているので、短時間で正確に解く練習が必要になる。また、問題文を正しく読み取る訓練も必要である。
国語	試験時間60分、配点150点〈出題分析〉物語文：13問／説明文：14問／漢字：15問。〈対策〉物語文。説明文・漢字の大問3問構成で成り立っている。漢字の出題数が多く、配点の割合も高いので、しっかりと練習しておく必要がある。また、文法の問題もよく出題されているため、知識問題が重要である。
社会	〈試験時間30分〈出題分析〉地理・歴史・公民：各1問ずつ 〈対策〉問題の量は多いが、深い知識は必要ない。地理分野では、日本の自然、人口、地形、産業の特色や世界との貿易を問う問題が出題されている。産業は地域ごとに特色をまとめ、主な地名は地図で位置を確認しておくこと。歴史分野では、記述形式が多いので、漢字に注意して覚える。公民分野では、日本国憲法や三権分立に関する問題が目立つ。日ごろから新聞やニュースを見ておくこと。
理科	試験時間60分、配点75点〈出題分析〉物理：9問／化学：17問／生物：9問／地学：10問 〈配点〉基本的な問題が多いので、基本的な事項の暗記は必須である。計算も必ず出題されている。出題されている単元に特徴があるため、単元を絞って対策を立てると効率的である。物理分野では「豆電球と回路」「ばねとてこ」「物質と温度」「ふりこ」、化学分野では「水溶液」「気体の性質」「気体の発生」、地学分野では「天体の観察」から出題されることが多い。記号による選択問題が多くあるが、図の読み取りもよく出題される。
入試データ	理系選抜：募集人数25人、受験者数2次266人、合格者数80人。男子英数：募集人数70人、受験者数2次217人、合格者数117人。女子英数：募集人数75人、受験者数2次411人、合格者数247人。女子特進Ⅱ（4科）：募集人数70人、受験者数2次164人、合格者数112人。女子特進Ⅰ（4科）：募集人数80人、受験者数2次34人、合格者数26人。

◎ こういう生徒にお勧め！

- ・帝塚山中学以外は考えられない。
- ・小学校6年生から受験対策を考えたい。
- ・塾に行っているが、成果かがでていない。

◎ 対象エリア

対象学年：小学4年生～小学6年生
 対応地域：特になし
 指導期間：お申し込み時から受験日の月末

◎ 対策の特徴

- ①帝塚山中学受験に特化したカリキュラムになっており、無駄を省くことができる。
 - ②個々に合わせた対応が可能。教科ごとの目標点などは得意、不得意などで設定を行なう。
 - ③どの時期からでも対応可能。小6からのスタートでも個々にあったカリキュラムを作成できる。
- 対応教師：
 ・難関中学出身者（現役大学生）
 ・私立中学受験専門教師（プロ家庭教師）